

妹 朝學校に行くのに出遅つて居ると。
姉 子さん、また御心の御病氣でせう。

妹は學校で直視教授のある日は。おなかどいたいか。おつむりがいたいとかいふ。而してあとでけふは直觀べいがあるからいやだといふ。

姉妹で二月初めから。毎日毎日おひなさまかざつて頂戴
くといふ。おつきの女中が奥様に伺つてから（丁度母
ば病中だつた）といふ。姉、アーア、アーアわたし早く
奥様になりたいわ。そうすると早くからおひなさま飾つ
て。毎日くお雛さまあそびするわ。

東京女師幼稚園だより (二)

1 復舊設備

當幼稚園は震災後諸般の施設復舊に努力してゐたが、近時漸く相當の設備が出来るやうになつた。是等についての説明は適當の機會に發表して、幼稚園を新設せられる方の参考に供することにするが茲に新に制定せる保護者心得を掲載する。勿論保護者心得のことであるから、當幼稚園の保護者に對するものではあるが、多少の参考になるかとも考へるのである。この保護者心得は震災前のものを更に整

理して制定したもので、多年の經驗から一應保護者の心得てよいことを簡單に發表したものである。保護者會と加入園式の際之を解説することが少くない。

2 保護者心得（東京女子高等師範學校附屬幼稚園）

當幼稚園ニ幼児ヲ入園セシメラレタ方ハ當幼稚園ノ保育方針ニ注意シ協力シテ幼児保育ノ目的ヲ達スルヤウニ努メラレタシ。

(一) 當幼稚園ハ幼児ノ保育ニ任ズルト共ニ幼児保育法ノ

研究ヲナスモノデアリマスカラ其ノ點モ豫メ御了解アラ
ンコトヲ望ミマス。

(二)幼稚園ハ幼兒ノ生活作業スル間ニ身體精神ノ兩方面ニ
於ケル發育ヲ促進助長スルノデアリマスカラ、保育課目
トシテハ遊戯・唱歌・談話・手技等ガアリマス。シカシ小學
校ノ如キ學科ノ知識ヲ特ニ授ケルコトヲ致シマセン。

(三)幼兒ガ自ラ爲シ得ルコトハ成ルベク人手ヲ借リズ自ラ
ナスヤウニ躰ケラレタシ。

(四)毎年二回位保護者會ヲ開キ、特ニ保護者ノ來園ヲ請ウ
テ保育ニ關スル相談ヲスルコトニイタシマス。シカシ家
庭ニ於テ幼兒保育ノ任ニ當ラレル方ハ時々來園セラレ、
幼稚園ニ於ケル保育ノ實況ヲ參觀セラレタ上、必要ニ應
ジ、擔任保母ト相談下サルコトヲ希望イタシマス。
尙ホ保護者トシテ心得ラレタキ注意事項ヲ左ニ掲ゲマ
ス。

服 装

(一)幼兒ノ服裝ハ質素輕快ナルモノトセラレタシ。從ツテ

男女兒共ニ身體ノ發育ヲ妨ゲズ運動ノ自由ナル洋服ガヨ
ロシイ。

(二)男女兒共ニ前掛(エプロン)ヲ必 着用セシメラレタ
ク、又女兒ニハ是非下穿(パンツ)ヲ用ヒシメラレタシ。

(三)帽子ハ男女兒共ニ一定ノ制定ガナイカラ適宜質素デ輕
快ノモノヲ使用セシメラレタシ。女兒ノ頭髮ハ「オカツ
パ」デ、リボン等ノ裝飾品ヲツケナイ方ガヨロシイ。

(四)履物ハ成ルベク靴トシ、輕クシテ運動ニ便利、且ツ着
用ノ簡單ナルモノヲ用ヒセシメラレタシ。ソシテ下靴ト
上靴トヲ區別スルヤウニセラレタシ。

携 帶 品

(一)ハンケチ・鼻紙ハ必ズ攜帶セシメラレタシ。シカシ家庭
ヨリ玩具・繪本・金錢、ソノ他不用ノ品ハ一切攜帶セシメ
ナイヤウニ注意セラレタシ。

(二)辨當ニハ必ズ茶碗・箸(又ハフオーク)・湯呑・布片を附
屬セシメラレタシ。ソシテ是等ノ器物ハ毎日常家庭ニ於テ
十分清潔ニ洗滌シテ下サイ。

(三) 幼児ガ幼稚園ニ於テ使用スル筆箱・鉛筆・色鉛筆・クレヨン・鋏・手工帳・自由畫帳・塗畫帳・粘土筥等ハ保育ノ必要上大體一定シテアリマスカラ成ルベクソレヲ使用セシメラレタイ。

(四) 凡テ幼児ノ携帶品ニハ一々ソノ姓名ヲ假名書デ明記シテ置カレタシ。

送 迎

(一) 幼稚園ノ往復ニハ確實ナル附添人ヲ附ケセラレタシ。

(二) 附添人ハ成ルベク一定シ、豫メ擔、保姆ニ届出デラレタシ。若シ臨時ニ變更サレタ場合ニハソノ旨ヲ明カニスル適當ナル方法ヲ講ゼラレタシ。尙ホ附添人ハ當幼稚園ノ命令ニ從フヤウニ注意セラレタシ。

(三) 登園降園ノ時刻ハ變更ノ都度通知イタシマスカラ、アマリ早く登園セラレヌヤウ注意セラレタシ。又歸宅ノ遅レルコトノナキヤウ附添人ヲ監督セラレタシ。

(四) 當幼稚園ニハ附添人室ガアリマセンカラ、附添人ハ幼児ヲ送り届ケニナツタラ一旦歸宅シ、改メテ迎ニ來ラレ

ル方ガ好都合デセウ。附添人ハ園内ノ告知板ニ時々注意セラレタシ。

諸 届

(一) 病氣ソノ他ノ事故ニヨツテ幼児ヲ休園セシメラレルトキハ、ソノ理由ヲ明記シテソノ都度、届出デラレタシ。

(二) 幼児ノ住所、保護者ノ住所ニ移動ヲ生ジタ場合ニハ必ず届出デラレルコト。電話番号モ豫メ届出デラレタシ。シカシ幼児ニハ一切電話ノ取次ハセヌコトニナツテキマス。

傳 染 病

(一) 幼児ガモシ左掲ノ傳染病ニカカツタトキハ、登園ヲ見合セシメルコトハ勿論、全治後登園セシメラレルニモ傳染ノ虞ナキコトヲ記シタ醫師ノ證明書ヲ當幼稚園ニ差出サレタシ。

痘瘡 實布埜利亞 猩紅熱 發疹蜜扶斯 ペスト 赤痢 虎列刺 腸窒扶斯 パラチフス 流行性腦脊髓膜

炎

(一) 幼児ノ家族又ハ同居人中ニ前項ノ傳染病ニカカリタル方ガアル場合ニ、幼児ヲ登園セシメラレルニハ醫師ヨリ適當ナ處置ヲ受ケ、且傳染ノ虞ナキコトヲ記シタ醫師ノ證明書ヲ差出サレタシ。

(二) 若し左ノ傳染病ニカカツタ幼児ヲ登園セシメラレルトキハ、ソノ病狀ニヨリ醫師ヨリ適當ナ處置ヲ受ケ、且ツ傳染ノ虞ナキコトヲ記シタ醫師ノ證明書ヲ差出サレタシ。

百日咳 麻疹 流行性感冒 流行性耳下腺炎 風疹

水痘 肺結核 喉頭結核其他結核病 癩病 疥癬其他ノ傳染性皮膚病

トラホーム其他ノ傳染性眼疾

以上諸疾病ノ擬似症モ亦之レニ準ズルコト

保育料

(一) 保育料ハ必ズ期日内ニ、定額ニ過不足ナク本校會計課ニ納付セラレタシ。幼児ニ持參セシメラレルコトハ堅クオ斷リシマス。

(二) 保育料ハ成ルベク一期若クハ一箇年分ヲ纏メテ納付スル方ガ御便利デアリマス。但シ一旦納付シタル保育料ハ還付シナイ規則ニナツテキマス。

雜件

(一) 手技材料等ノ費用ヲ徴スル場合ニハ、ソノ旨通知イタシマスカラ所定ノ金錢ヲ封入ノ上、姓名ヲ記サレテ提出セラレタシ。コノ場合ニモ幼児ニ金錢ヲ渡サルコトハサケラレタシ。

(二) 當幼稚園ヨリ幼児ニ關スル調査ヲ依頼シタ場合ニハ事實アリノ儘ヲ御記入ノ上、返附シテ下サイ。

(三) 保護者懇話會ニハ保護者(成ルベク母親)自身ガ出席セラレタシ。若シムヲ得ザル事情ガアツテ代理者ヲ出席セシメラレルトキハ幼児保育ニ責任ヲ有セラレル方ヲ選バレタシ。

3 保育修了式

大正十三年度保育修了式は去る三月二十五日に舉行せられた。保育修了者八十五名、内附屬小學校第一部に入學するもの二十六名他は附屬小學校第二部第三部又は東京高等師範學校附屬小學校に入學し尙ほ若干名市内小學校又は私立小學校に入學することになった。

式は十時始まり先づ敬禮あつて學校長の挨拶があつた。保育修了幼兒に對する平易な訓辭から一年保育幼兒の心得更に保護者に對する挨拶が行はれて後、左のプログラムによつて修了幼兒のお話、唱歌遊戯を行つた。

プログラム

- 一、合唱 春が來た 全體
- 一、お話 わにさめ 山の組
- 一、唱歌 わにさめ 山の組
- 一、遊戯 兵太
桃太
黒丸
坊 山の組
- 一、唱歌 赤い鳥・小鳥 海の組

東京女高師幼稚園だより

- 一、遊戯 コケツコ
風船
おいてきぼり 海の組
- 一、唱歌 こむ風船
はひりち
ひばり 林の組
- 一、遊戯 牛若丸
春が來た
飛行機 林の組
- 一、唱歌 葉ばつば 池の組
- 一、遊戯 春の船
水だれぼ
雨だれぼ
駄つくら 池の組

大正十四年三月二十五日

以上

更に保育實習科生徒の遊戯を終つて記念撮影を行つた。修了式と稱するも小學校に於ける卒業式とは異り形式ばつたものではない。勿論修了證書といふべきものは與へないから一寸米國などに於ける學校の卒業式に類する點も少なくない。兎に角修了幼兒の父兄は學校の招待によつて殆ど全部の臨席があり親も子も保母もまた残るも去るも喜びの中にお分れをなすといふ有様であつた。

4 保育実習科生徒の修了

昨年四月十一日より入學保育の理論並に實習に研究努力せる保育実習科生徒十有七名は三月二十七日修了證書を授けられた。茲に若き元氣に満ち兒童愛に漲れる保母諸君を保育界に送り出した譯である。特に若き保母諸君の氏名を列擧して將來の活動を期待したいと思ふ。

石川 サイ 井浦 多美 羽生 フイ
 北條 孝 床次 夏 小川 ツネ

國木田みどり 山村 きよ 松木 初枝
 小俣 ひさ 後藤 茂兎 北島なほゑ
 岸邊 静子 平田 梅子 平田 富美
 關根 とし 岡本 千枝

是等の諸君は既に就任すべき幼稚園も確定せるもの多く或は家庭の事情上直に就任せないものもあるが兎に角幼児保育のため直接全力を擧げて努力せられる筈である。

(一四、三、三〇、醫峰生)

〇みどり會々員諸姉へ

會員名簿を作らうと思ひます。

住所と奉職園名、と氏名(改名の方は舊とお記し下さい)を母校幼稚園内幹事あて、で早速お送り下さいませ。なほ、この雑誌をご覧にならない、お知合の會員がございましたら、そへてお知らせ下さるようお願い申し上げます。

みどり會幹事